

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	褐色細胞腫・パラングリオーマの疾患関連遺伝子に関する解析			
2. 対象患者	2018年2月以降に褐色細胞腫またはパラングリオーマと診断され、確定診断のために採取された生検組織が保管されている方			
3. 対象となる期間	2018年 2月22 日 ～ 2023年 2月 21日			
4. 実施診療科等	小児科			
5. 研究責任者	氏名	大谷 勝記	所属	弘前大学医学部附属病院 周産母子センター
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	京都大学医学部腫瘍生物学講座(小笠原 辰樹)			
7. 研究の意義	褐色細胞腫・パラングリオーマは今世紀になり新しい原因遺伝子の発見が相次ぎ同定され、さらに未知の原因遺伝子がまだ存在すると予測されています。それぞれの遺伝子に関して実際に病気とどのような関係があるのか解明します。			
8. 研究の目的	褐色細胞腫・パラングリオーマの新しい原因遺伝子を見つけたり、診療に影響を与える遺伝子の手がかりを探します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	血液、手術治療を受ける際に診断に用いた残りの組織、病理組織を使用します。これらの検体をカルテ情報(a. 基本情報(初診時年齢、性別、初診時身長・体重、既往歴、家族歴、発見の契機、転帰、合併症、自覚症状など)、b. 一般検査所見、c. 内分泌検査所見、d. 画像検査所見、e. 治療内容(手術治療の有無・施行日、薬物治療、その他の治療内容など)、治療効果と予後)とともに京都大学医学部腫瘍生物学講座に送付して遺伝子異常に関する解析を行います。			
10. 個人情報の保護	個人情報は暗号化され番号で扱われ厳重に保管され、個人が特定されることはありません。ご希望があれば遺伝情報を開示したり、遺伝についてのお悩みのご相談は遺伝カウンセリングで対応いたします。			
11. 利益相反に関する状況	弘前大学医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会にて適切に審査・管理しています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 周産母子センター 大谷 勝記			
	電話	0172-39-5070	FAX	0172-39-5071